

【学校教育専攻】 2022 採用試験 合格者インタビュー ③

1 教員を目指した理由は？

私が教員を目指したのは、中学生のときの担任の先生との出会いです。野球部の顧問でもあった先生は、強豪校で野球をする夢を応援してくださいました。また、英語を通して、留学生と触れ合う中で、もっと英語を学びたいと思い、中学校の英語の先生になりたいと思うようになりました。

今後は、生徒の夢の実現をサポートできるような先生になり、英語の楽しさを感じてもらえるような授業をしたいと思っています。

2 大阪大谷はどうだった？

指定校の推薦があったことやオープンキャンパスで、少人数で学べることを知ったことで、大阪大谷大学に決めました。授業では、1回生から学生で話し合ったり授業を作ったりといった実践的な内容を学びました。学生が主体的に学べる場がたくさんありました。ゼミでは、英語を専門的に学べ、採用試験の対策にも取り組みました。

また、所属した準硬式野球部では、高いレベルで野球ができ、練習内容も自分たちで考え、4年間充実した活動ができました。



城尾 貫司輝さん

(中学校・高等学校英語科教諭コース)

大阪府

中学校（英語）合格！

3 採用試験はどうだった？

3回生の最初からゼミなどで対策を始め、過去問を解いていく中で意識が高まりました。教職センターの対策講座にも参加し、面接・模擬授業の練習にも10回以上取り組み、自分の考えの芯になる部分ができてきました。大阪府を第1志望としながらも、複数の自治体を受験した経験も役に立ったと思います。

試験当日は、自信をもって模擬授業や面接に臨むことがができ、英語での面接も手ごたえがありました。練習の成果が発揮されたと思います。

4 教員を目指す高校生にメッセージ

教員になりたいという夢の実現と部活動とを両立させ、充実した大学生活を送ることができました。

少人数での授業で、何でも質問でき、親身になってくださる先生との距離感が近い大学だと思います。

小学校や中学校・高等学校などの現場経験のある先生からは、実際の教育現場での話をたくさん聞かせていただきました。

オープンキャンパスでは、現役学生に質問できる機会もあるので、ぜひ参加してください。